令和８年第４回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏　名	質問順	氏　名
１	塩田　智明	８	荒谷　敏
２	菅原　福治	９	渡邊　俊一
３	青柳　信義	１０	出川　博一
４	佐藤　浩崇	１１	長谷川　る美
５	須藤　義	１２	畠山　由美
６	金子　透	１３	菊池　美穂
７	浅野　直子	１４	伊藤　嘉樹

議　長	副議長	事務局長	書　記

受付番号	1
受付月日	１１月１６日（月）
受付時間	８：４７

一　般　質　問　通　告　書

令和　８年１１月１６日

富谷市議会

議長　　畑　山　和　晴　　殿

富谷市議会議員　１０　番　　塩田　智明

質 問 方 式　一括方式　・　一問一答方式

令和８年第４回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	塩田　智明
質 問 方 式	一括　　一問一答

No.　１　　質問件名　　市長３期目の実績と今後の市政運営について

【質問要旨】

富谷市は、１０月１０日で市制施行１０周年を迎えました。

その節目の年に、民間調査機関による「街の住みここちランキング」７年連続東北第１位、「住みよさランキング」北海道・東北編第１位、さらには「街の幸福度&住み続けたい街ランキング」東北第１位と高い評価を得ることができました。この評価は、市長と執行部が一丸となって「住みたくなるまち日本一～１００年間ひとが増え続けるまち～」の実現に向けて着実に取り組んできた結果であると認識します。

市民は、「暮らしやすい」「住んでよかった」と実感できる持続可能なまちづくりに期待しています。

来年１月には市長選挙が予定されており、現市長は３期１２年の市政運営の節目を迎えようとしています。そこで、市長３期目の成果と課題を総括するとともに、今後の市政運営について、以下質問します。

【質問項目】

１　市長３期目の総括と市民の関心が高い主要施策の達成状況をどう評価していますか。また、継続課題をどのように認識しているのか伺います。

①都市型自走式ロープウェイなどの基幹公共交通の整備と市内公共交通の充実

②東北医科薬科大学・富谷メディカルセンター（仮称）の早期立地

③富谷市複合図書館ユートミヤの整備

④成田二期北工業用地への企業誘致

⑤仙台北部道路の４車線化、富谷ＪＣＴのフルジャンクション化の整備促進

２　３期１２年間の財政運営の総括と将来的な公共施設更新への対応は、どのように考えているのでしょうか。

３　市民は、「暮らしやすい」「住んでよかった」と実感できる持続可能なまちづくりに期待しています。市長は、今後の市政運営について、どのように考えているのか伺います。

答弁を求める者　　市長

議　員　名	塩田　智明
質 問 方 式	一括　　一問一答

No.　２　　質問件名　　新たな住宅地整備に伴う行政課題への対応について

【質問要旨】

明石台地区は、明石台東地区の宅地開発が進み、前回の国勢調査時と比べ人口が急増しました。本市の行政区別・男女別調査書によれば、令和８年１０月現在、２，１４１人増加し、１１，１１３人となっています。東向陽台小学校の教室不足については、増築の方針が示されましたが、待機児童の増加、中学校の教室不足、交通渋滞や通学路の安全確保などが課題となっています。

本市の第二次総合計画では、成田二期東・西地区や明石台東二期地区への新たな住宅地整備が予定され、さらなる人口増加が見込まれています。こうした開発は、若い世代や子育て世帯の転入を促し、地域活性化につながる一方、待機児童の増加、小中学校の教室不足、交通渋滞など、行政サービスへの影響も懸念されます。

今後、人口増加に伴う課題を未然に防ぐには、将来の行政需要を的確に予測し、開発の初期段階から関係部署が連携する庁内横断的な検討体制を構築するとともに、住宅地開発と公共施設・生活インフラの整備を一体的、計画的に進めることが重要です。

そこで、将来人口の推計、子育て・教育環境などについて、以下５点を伺います。

１　新たな住宅地開発に伴い、地区別に今後どの程度の人口増加が見込まれるのか。また、こうした人口推計を、保育、教育、交通などの行政需要の把握や各種行政計画にどのように反映しているのか伺います。

２　待機児童の増加に対し、既存保育施設の活用や保育士の確保など、今後どのような対策を講じていくのでしょうか。

３　小中学校の児童生徒数の増加に伴う教室不足や放課後児童クラブについて、将来を見据えた対応策をどのように考えているのか伺います。

４　人口増加に伴う交通量の増加に対し、周辺道路の渋滞対策や交差点の改良、通学路の安全確保について、どのような対策を検討しているのでしょうか。

５　開発の初期段階から関係部署が連携する庁内横断的な検討体制を構築し、保育施設、学校、道路、公共交通、防災施設などの必要性を検証し、住宅地整備と公共施設整備を一体的に進める仕組みが必要と考えますが、市の見解を伺います。

答弁を求める者　　市長

議　長	副議長	事務局長	書　記

受付番号	2
受付月日	１１月１６日(月)
受付時間	８：５５

一　般　質　問　通　告　書

令和 ８年 １１月１６日

富谷市議会

議長　畑　山　和　晴　殿

富谷市議会議員　１０　番　　菅原　福治

質 問 方 式　一括方式　・　一問一答方式

令和８年第４回富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	菅原　福治
質 問 方 式	一括　一問一答

No.　１　　質問件名　　軽度認知障害・ＭＣＩに気づくために

【質問要旨】－簡明に－

高齢化が進む中で、「最近、物忘れが増えた」「人の名前がすぐに出てこない」など、自分自身や家族の症状について、認知症の前兆かもしれないと心配している方が少なくありません。

認知症は、介護が必要になってから支援するのではなく、その前段階である軽度認知障害・ＭＣＩの段階から変化に気づき、適切な相談や医療機関の受診につなげることが重要です。

ＭＣＩの段階であれば、相談者の１６％から４１％が健常な状態に戻ることが報告されています（東京都健康長寿医療センター副院長・岩田淳氏）。

ＭＣＩについては、本人や家族だけに気づきを委ねるのではなく、行政としても、発見から相談に至るまで、切れ目のない支援体制を整えることが重要と考えます。

以下、見解を伺います。

【質問項目】－列　記－

１　本市における認知症及び軽度認知障害・ＭＣＩに関する現状把握、市の認識及び課題について。

２　本人及び家族がＭＣＩに気づいた際の早期発見と、かかりつけ医療機関への接続に関する仕組みについて。

３　運動習慣、食生活の改善、社会参加、外出機会及び人との交流などを組み合わせた、ＭＣＩの予防策の検討について。

４　ＭＣＩと診断された本人及び家族に対する、行政、町内会等の地域による見守り・連携体制は十分か。

５　ＭＣＩについては、本人や家族だけに気づき等を委ねるのではなく、行政としても、発見から相談に至るまで、切れ目のない支援体制が必要です。

これまでの本市におけるＭＣＩ対策の施策の成果検証と、今後のＭＣＩに対する具体的な取り組みについて伺います。

答弁を求める者　　市長

議　　長	副 議 長	事務局長	書　　記

受付番号	3
受付月日	１１月１６日（月）
受付時間	９：２７

一　般　質　問　通　告　書

令和　８年１１月１６日

富谷市議会

議長　畑　山　和　晴　殿

富谷市議会議員　１５　番　　青柳　信義

質 問 方 式　一括方式　・　一問一答方式

令和８年第４回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	青柳　信義
質 問 方 式	一括　　一問一答

No.　１　　質問件名　本市のクマ対策について

【質問要旨】－簡明に－

宮城県は、１１月６日、直近１週間の本市市街地におけるクマの目撃情報等が複数回あったことから、１１月６日～２０日まで、市内全域に「クマ出没注意報」を発令しました。この注意報は、９月１０日～３０日までに続く二度目の注意報です。

本年は、特に日吉台・杜乃橋において連日クマの目撃情報があり、５月２６日には高屋敷地区でクマ１頭が捕獲されました。９月１１日と３０日には、高屋敷・杜乃橋地区への箱罠設置が本市ＨＰで公表され、１０月３０日には同地区付近でクマ１頭が捕獲されるなど、地域住民の安心・安全が脅かされている状況にあります。

宮城県は、本年９月の補正予算で、クマ被害防止対策に９億円という大規模な予算を計上しており、県と市町村が一体となった様々な支援メニューを展開しています。

このような背景を踏まえ、以下質問します。

【質問項目】－列　記－

１　本年の富谷市安全安心メール、クマ出没情報件数総数と、日吉台・杜乃橋（熊谷地区、富ケ丘、鷹乃杜含む）の件数をお伺いします。

２　箱罠の設置について、出没回数、出没場所、人身被害の危険性など、具体的な判断基準をお伺いします。

３　設置の判断は市、宮城県、猟友会のどの機関が行い、最終的な決定権限はどこにあるのかお伺いします。

４　学校、通学路、住宅地、公園などの近くに設置する場合、安全性の確保についてお伺いします。

５　設置後の見回り体制について、確認頻度や緊急時の対応方法をお伺いします。

６　高齢者など市公式ＬＩＮＥ、安全メールなど、スマートフォンを利用しない要配慮者への伝達手段確保はどのように行うのかお伺いします。

７　市内小中学校の通学路について、登下校時に出没した場合、休校、登校時刻の変更、保護者送迎など、判断基準はあるのかお伺いします。

８　ＰＴＡ又は関係機関のパトロール巡視、スクールガードリーダーによるクマ出没地域の巡回パトロール状況をお伺いします。

答弁を求める者　　市長

議　　長	副 議 長	事務局長	書　　記

受付番号	4
受付月日	１１月１６日（月）
受付時間	９：４５

一　般　質　問　通　告　書

令和 ８ 年 １１ 月 １６ 日

富谷市議会

議長　畑　山　和　晴　殿

富谷市議会議員　８　番　　佐藤　浩崇

質 問 方 式　一括方式　・　一問一答方式

令和８年第４回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	佐藤　浩崇
質 問 方 式	一括　　一問一答

No.　1　　質問件名　　待機児童の解消に向けた保育環境の整備について

【質問要旨】－簡明に－

令和８年度当初、本市の待機児童数は２６人となり、令和７年度当初の０人から大幅に増加しました。特に０歳児と１歳児の待機が多く、育児休業からの職場復帰を予定していた保護者にとって、保育施設に入所できないことは、就労や家計に直接的な影響を及ぼす深刻な問題です。

【質問項目】－列　記－

１　令和８年度当初に待機児童が発生した要因をどう分析しているのか伺います。

２　０歳児・１歳児の待機が多い背景について、出生数や保育需要、地域別の人口動態などを踏まえ、どのように捉えているのか伺います。

３　特定の保育施設のみを希望するため入所できない方と、希望対象ではないけれども受け入れ可能な施設とのマッチングをどのように進めているのか伺います。

４　今後も０歳児・１歳児の増加が見込まれているとのことですが、今後５年間程度の保育需要をどのように推計しているのか。また、地域ごとの需要予測を踏まえた受入れ定員の確保について、どのような方針を持っているのか伺います。

５　定員拡大要請に対する各保育施設の反応や、実際に受入れ定員の拡大につながる見通しについて。また、定員を増やすに当たり、設備面や人材面、財政面でどのような課題を抱えていると認識しているのか伺います。

６　市内の多くの保育施設で慢性的な保育士不足が生じている状況を踏まえ、保育士の新規確保や離職防止に向けた支援策（例えば、保育士の就職支援、潜在保育士の復職支援、処遇改善への独自補助など）を講じる考えはないか伺います。

７　保育施設に入所できないことで、予定していた育児休業からの職場復帰が困難となり、家計にも大きな影響を受けている世帯があります。こうした保護者の不安や負担を軽減するため、年度途中の入所希望者への対応や、入所可能な施設の情報提供、育児しながらも勤務しやすい環境整備を進めている企業との連携など、職場復帰を支える仕組みを構築してはと考えますが、見解を伺います。

答弁を求める者　　市長

議　　長	副 議 長	事務局長	書　　記

受付番号	5
受付月日	１１月１６日（月）
受付時間	１０：０６

一　般　質　問　通　告　書

令和　８年１１月１６日

富谷市議会

議長　畑　山　和　晴　殿

富谷市議会議員　２　番　須藤　義

質 問 方 式　一括方式　・　一問一答方式

令和８年第４回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	須藤　義
質 問 方 式	一括　一問一答

No.　　1　　質問件名　資源３種ごみの収集回数は適切か

【質問要旨】－簡明に－

近年、家族構成やライフスタイルの変化、あるいは買い物をすると容器や食品包装などでどうしてもプラごみが発生してしまうこともあり、従来よりも一人当たりのプラごみが増えやすい社会になっています。

そのような中、本市の住宅地に設置されている「ごみ集積所」では収集用のネットに入りきらずネットからはみ出ているプラごみや、収集カゴの上限を超え山積みにされているペットボトルごみが散見されます。このような状況は本市の一部だけに限定される状況ではなく、少なくとも市内の杜乃橋地区、日吉台地区、明石台地区、富ケ丘地区など複数の場所で確認されています。

現在、本市では各地区とも、プラごみやペットボトルを含む「資源３種」の収集日は週に１回となっていますが、このような状況を見ますと排出量に対して収集回数が少ないのではないでしょうか。収集用ネットやカゴを増やすという手段も考えられますが、市民の皆様に取りましても、万が一、週１回の収集日に出しそびれますと大量のプラごみを自宅に保管したまま一週間を過ごさねばならず不便を感じるという声もありますので、収集ネットやカゴを増やす解決策ではなく、現場を調査していただき、実態に即した収集回数に増やしていただくようご提案申し上げて、以下のとおり質問します。

【質問項目】－列記－

１　本市では、収集用のネットに入りきらないプラごみや、ペットボトルごみが収集カゴの上限を超え山積みにされている状況のごみ集積所が散見される状況を把握していましたか。

２　現在の「週１回」という資源３種の収集回数の設定は、いつの時期に、どのような根拠に基づいて設定された回数ですか。

３　プラごみ、及びペットボトルを含む「資源３種」の収集日を週１回から増やすべきだと考えますが、本市の見解は。

答弁を求める者　　市長

議　員　名	須藤　義
質 問 方 式	一括　一問一答

No.　　２　　質問件名　学校での発達障がいへの対応は

【質問要旨】－簡明に－

発達障がいとは、生まれつきの脳機能の発達の特性によって、認知や行動、コミュニケーション、学習などに困難が生じる状態の総称で、代表的なものには、ＡＤＨＤ（注意欠如・多動症）、ＡＳＤ（自閉スペクトラム症）、ＬＤ（学習障害）等があります。今回は特にこの３つを想定して質問することとします。

以前と比べて認知度が高くなってきた発達障がいですが、日本の教育現場における対応はまだ十分とは言えず、学校生活で生きづらさを感じている子どもが多数いるのが現状です。

そのような中、令和８年３月に『発達障害を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒への適切な支援に向けた新年度における対応について（依頼）』という文書が文部科学省から出されました。これは、発達障がいを含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒本人や保護者への確実な情報提供と、適切な支援に向けた校内支援体制の構築等を依頼するもので、内容は大きく４つの構成から成ります。当該文書に述べられている４つの観点を中心に、本市では発達障がいを有する児童生徒、及びその保護者等に対してどのような対応が取られているのかを確認すべく、以下のとおり質問します。

【質問項目】－列記－

１　本市では、本人及び保護者に向け、どのように情報提供し相互理解を図っていますか。

２　学習の困難さを低減できるよう、デジタル学習基盤の活用を許可していますか。

３　発達障がいによって特別な教育的支援を必要とする児童生徒を的確に把握し、必要な支援を組織的に行うための校内支援体制を構築していますか。また、それらの児童生徒等に合理的配慮の提供は行われていますか。

４　福祉部局等や関係機関等との連携、及び所管する学校に対して必要な支援及び指導・助言を行う等、本市教育委員会では取り組みの促進について、どのような対応が行われていますか。

答弁を求める者　　教育長

議　　長	副 議 長	事務局長	書　　記

受付番号	6
受付月日	１１月１６日（月）
受付時間	１０：１８

一　般　質　問　通　告　書

令和　８年１１月１６日

富谷市議会

議長　畑　山　和　晴　殿

富谷市議会議員　１１　番　　金子　透

質 問 方 式　一括方式　・　一問一答方式

令和８年第４回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	金子　透
質 問 方 式	一括　　一問一答

No.　１　質問件名　本市の消防力の整備について

【質問要旨】－簡明に－

総務省消防庁から、消防力の整備指針が発出されております。その指針によれば、市街地の区域内人口が４万人となった場合、２か所の署所を設置すべきとされております。現状、本市南西部には富谷消防署が１か所設置されているのみであり、指針とは整合しておりません。本市南東部にも、１か所の署所を整備すべきであります。

以前にも同様の一般質問を行いました。しかし、現在の本市の状況は、以前とは確実に異なっております。決して先延ばしできることではないと考え、質問します。

【質問項目】－列記－

１　本市南東部の消防力の現状について、どのように認識しているのか伺います。

２　早急に黒川地域行政事務組合において正式な議論を開始すべきと思うが、考えを伺います。

３　消防力の整備指針は消防行政にとってどのような位置付けか伺います。

答弁を求める者　　市長

議　　長	副 議 長	事務局長	書　　記

受付番号	7
受付月日	１１月１６日（月）
受付時間	１０：５３

一　般　質　問　通　告　書

令和　８年１１月１６日

富谷市議会

議長　畑　山　和　晴　殿

富谷市議会議員　１２　番　浅野直子

質 問 方 式　一括方式　・　一問一答方式

令和８年第４回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	浅野　直子
質 問 方 式	一括　　一問一答

No.　　1　　質問件名　　母子保健ＤＸの導入について

【質問要旨】－簡明に－

本市の子育て支援は、子どもをど真ん中に据えた施策により、細部にわたり拡充されています。

「とみここ」は、さまざまなイベントや研修会、相談等を通じて、若い子育て世代に大きな安心感を与える存在であると認識しています。

また、従来の「母子健康手帳」については、多様な家族形態や父親の育児参加、家族の在り方の変化を踏まえ、「母子健康手帳」から「親子健康手帳」へ名称が改められました。

こうした取組を踏まえ、母子保健ＤＸの観点からも、「電子版母子健康手帳」等を導入し、手続や予約等の利便性を高めるとともに、紙媒体との併用・補完を図る考えについて伺います。

【質問項目】－列記－

1　現在、本市では子育て事業の予約や申請手続を電話で行っていますが、ＤＸの観点から、アプリなどを導入し予約や申請手続の利便性の向上を図るべきと考えますが、見解を伺います。

2　電子版母子健康手帳の導入について、メリット・デメリットをどのように捉えていますか。

3　親子健康手帳を基本としながら、電子版母子健康手帳を導入することは、共働き世帯において、親子健康手帳を補完するものになると考えます。必要な情報をすぐに確認でき、家族間で共有することもできると考えますが、見解を伺います。

答弁を求める者　　市長

議　員　名	浅野直子
質問方式	一括　　一問一答

No.　　2　　質問件名　　物価高騰による市民生活支援について

【質問要旨】－簡明に－

本市はこれまでも、社会情勢に応じて国の「物価高騰対応重点支援地方臨時交付金」などを活用し、先駆けて積極的に、きめ細かな市民生活支援事業を展開してきました。

今般の物価高騰による市民生活への対応は、本来、国が早急に行うべきものと考えます。しかし、長引く物価高騰により、食費や光熱費の負担が重くのしかかっており、市民からは、年末年始に向けて支援の拡充を求める声が届いています。

本市における物価高騰対策及び市民生活支援についての考え方と、今後の見通しについて伺います。

【質問項目】－列　記－

1　これまで物価高騰対策として実施してきた給付金や商品券の配布等、きめ細かな支援事業の効果について、総括・評価を伺います。

2　重層的な支援体制に取り組んでいる本市において、社会情勢の変化による市民生活の実態をどのように把握し、今後の支援の必要性をどのようにお考えか伺います。

3　物価高騰の現状を踏まえ、本市独自の支援が必要と考えますが、対応について伺います。

答弁を求める者　　市長

議　　長	副 議 長	事務局長	書　　記

受付番号	８
受付月日	１１月１６日（月）
受付時間	１０：５８

一　般　質　問　通　告　書

令和８年１１月１６日

富谷市議会

議長　畑　山　和　晴　殿

富谷市議会議員　５　番　　荒谷　敏

質 問 方 式　一括方式　・　一問一答方式

令和８年第４回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	荒谷　敏
質 問 方 式	一括　一問一答

No. １　　質問件名　　行政ＤＸ化の進捗と市民サービスの向上について

【質問要旨】－簡明に－

近年、デジタル技術やＡＩの急速な進展により、行政サービスの在り方も大きく変化しており、自治体における行政ＤＸの推進が重要な課題となっています。

本市においても、第２次富谷市総合計画において、行政手続き等のＤＸ化による市民サービスの向上を掲げ、「書かない窓口」の推進、キャッシュレス化、電子申請サービスの拡充、さらにはＡＩ（人工知能）・ＲＰＡ（ロボットによる業務自動化）などのシステム導入による行政事務の効率化に取り組む方針が示されています。

行政ＤＸは、単なるデジタル化にとどまらず、市民の利便性向上と職員の業務負担軽減につなげることが重要であると考えます。

そこで、総合計画に掲げる行政ＤＸ関連事業の現在の進捗状況と、導入による具体的な実施成果及び今後の推進方針等について伺います。

【質問項目】－列　記－

１　総合計画に掲げる行政ＤＸ化の事業実施状況と進捗状況は。

２　行政手続きのオンライン化に関する進捗状況は。

３　書かない窓口・キャッシュレス化の推進状況は。

４　ＡＩ・ＲＰＡ導入による業務効率化の進捗状況は。

５　高齢者等へのデジタル格差の対策は。

６　今後の行政ＤＸ化の推進に向けた取り組みや展望は。

答弁を求める者　　市長

議　員　名	荒谷　敏
質 問 方 式	一括　一問一答

No. 2　　質問件名　　小中学校体育館や市民センター等公共施設トイレの洋式化と利用環境の改善について

【質問要旨】－簡明に－

市民センター等公共施設のトイレは、子どもから高齢者、身体が不自由な方まで、幅広い市民が日常的に利用する生活に欠かせない施設であり、誰もが安心して快適に利用できる環境を整備することが重要と思います。

本市では、小中学校の校舎内トイレの洋式化などの改修が進められてきましたが、体育館内のトイレは建設当時のまま和式トイレが多く、また、市民センターなどの公共施設においても、和式トイレが残されており、高齢者や足腰に不安を抱える方、身体が不自由な方、小さなこどもなどにとっても、利用しづらい環境となっているのではないでしょうか。

生活様式の変化や高齢化の進展、利用者の多様なニーズに対応するとともに、災害時の避難所機能の充実という観点からも、小中学校の体育館内トイレや市民センター等公共施設のトイレ環境の改善が必要であると考えます。

そこで、小中学校体育館や市民センター、福祉関連施設などのトイレ洋式化の現状と、今後の計画的な改修方針について伺います。

【質問項目】－列　記－

1　小中学校体育館内の和式・洋式トイレの設置状況は。
2　体育館内トイレの洋式化が進んでいない理由は。
3　今後、体育館内トイレの洋式化を進める考えは。
4　市民センターや福祉関連施設など公共施設の洋式化の現状は。
5　和式トイレの洋式化に対する市民や利用団体などからの要望は。
6　公共施設のトイレ洋式化に向けた今後の整備方針は。

答弁を求める者　　教育長

議　　長	副 議 長	事務局長	書　　記

受付番号	9
受付月日	１１月１６日（月）
受付時間	１１：０２

一　般　質　問　通　告　書

令和　８年１１月１６日

富谷市議会

議長　畑　山　和　晴　殿

富谷市議会議員　１６　番　　渡邊　俊一

質 問 方 式　一括方式　・　一問一答方式

令和８年第４回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	渡邊 俊一
質 問 方 式	一括　　一問一答

No.　１　　質問件名　開発指導要綱と市街化区域内の用途、改定見直しについて

【質問要旨】－簡明に－

近年の区画整理事業における宅地開発の用途地域は、第一種低層住居専用地域において、建ぺい率４０％、容積率６０％が主となっており、建ぺい率・容積率が低いことから、二世帯住宅への改築や新築が難しく、若い夫婦や家族が転出せざるを得ない状況となり、急激に高齢化が進んでいる住宅地が見受けられます。

現在の開発指導要綱は制定から４５年が経過しており、現状に適応した内容へ改定していかなければならないと考えます。指導要綱においては、宅地分譲を目的として行う開発宅地について、一戸建て住宅の区画は２００平方メートルを基準とすると定められております。

近年本市の地価は毎年高騰しており、現在の基準では１区画の面積が仙台市より３３平方メートル多く、そのため、土地購入者の負担が大きくなるほか、開発地における一戸建て住宅の区画数にも影響があります。本市のさらなる人口増加を望むためにも、仙台市並みの基準への改定が必要であると考えます。

また、令和５年３月議会において、本市旧１６区の南部地区（明石、西成田、石積、大亀、今泉、大童）及び北部地区（一ノ関、二ノ関、三ノ関、志戸田）の人口減少対策について提案・提言させていただき、市長からは「早急に対策を取っていきたい」との答弁がありました。この機会に、人口減少が進む旧１６区内の地域について、一部を市街化区域へ用途変更することを進める考えがないか、次の質問において伺います。

【質問項目】－列記－

１　本市内の全区域、または新たな開発地域における用途地域の見直しを行い、建ぺい率と容積率を拡大することを提案いたしますが、見解を求めます。

２　開発指導要綱に定められている一戸建て住宅の区画面積について改定を求めますが、見解を伺います。

３　本市旧１６区、特に南部地区（明石、西成田、石積、大亀、今泉、大童)、北部地区（一ノ関、二ノ関、三ノ関、志戸田)、並びに穀田、原地区において、コミュニティや町内活動を維持するため、住宅数の増加による人口増加につながるよう、都市計画の見直しが必要と考えますが、市長の見解を求めます。

答弁を求める者　　市長

議　　長	副 議 長	事務局長	書　　記

受付番号	１０
受付月日	１１月１７日（火）
受付時間	９：２６

一　般　質　問　通　告　書

令和　８年１１月１７日

富谷市議会

議長　畑　山　和　晴　殿

富谷市議会議員　１４　番　　出川　博一

質 問 方 式　　一括方式　・　一問一答方式

令和８年第４回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	出川　博一
質 問 方 式	一括　[一問一答]

No.　1　　質問件名　　令和９年度予算編成方針と主要事業の環境対策は

【質問要旨】－簡明に－

予算編成方針は毎年９月末に通知されています。本市の財政見通しには、「歳入においては、基幹的な歳入である市税収入が、転入人口や個人所得の増加などにより増加すると見込まれる。一方、歳出においては、義務的経費である人件費、扶助費をはじめとする社会保障関連経費および公債費の増加に加え、公共施設の老朽化に伴う維持補修・更新経費の増加が見込まれる」と記載されています。

令和９年度は、成田二期北工業用地への企業立地や病院建設など、今後のまちづくりに関わる事業の進展が見込まれます。これらの事業については、将来の財政負担だけでなく、農業用水への影響や、薬品等による環境汚染への対策なども踏まえた検討が必要です。

令和９年度の予算編成方針および主要事業における財政面・環境面の対応について伺います。

【質問項目】－列　記－

１　市債発行の抑制及び、財政調整基金の取崩し抑制とあるが、９年度の主な事業は。

２　物価高騰による価格転嫁が予想されるが、どのように抑制するのか。

３　東向陽台小学校学区割に、地域市民の賛同が得られず、方針の変更を余儀なくされた。他の事業計画への影響は。

４　決算不用額の精査及び事業効果と成果の評価はどのように行うのか。

５　広報とみや１１月号（ＮＯ．７１８）特集記事「成田二期北工業用地がＧＸ戦略地域に認定されました！」に対しての意見として、農業用水への影響及び病院建設による薬品汚染の不安などが、懸念事項とされるがその対策は。

答弁を求める者　　市長

議　員　名	出川　博一
質 問 方 式	一括　[一問一答]

No.　２　　質問件名　　ゼロカーボンについて

【質問要旨】－簡明に－

地球温暖化等の地球規模での環境問題が深刻化していますが、人口が増加し、自動車利用者の多い本市においては、家庭や事業所でのエネルギー消費量の増加に伴い、二酸化炭素等の温室効果ガス排出量の増大化が懸念されます。

２０１８年にＩＰＣＣ（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「産業革命からの気温上昇を１．５℃に抑えるためには、２０５０年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」と示されています。

先般開催された「令和８年度富谷市地球温暖化対策推進委員会」において報告された内容等について、伺います。

【質問項目】－列　記－

１　区域施策編　大規模太陽光発電の導入

現状値（２０２５年）で５件、達成率１２５％となっているが、場所はどこか。

２　ＥＶ充電インフラ設備の導入

現状値１３基と、基準値（２０２０年）より３基減少した要因は。

３　従業員数あたり排出量原単位が増加した要因は。

４　家庭での省エネ診断件数

基準値（２０２０年）８戸/年　→　現状値（２０２５年）２戸/年と減少した要因は。

５　事務事業編の進捗状況

２０３０年度の目標とする、２０１３年度比▲５０％削減の見通しは。

答弁を求める者　　市長

議　　長	副 議 長	事務局長	書　　記

受付番号	１１
受付月日	１１月１７日（火）
受付時間	９：４０

一　般　質　問　通　告　書

令和　８年１１月１７日

富谷市議会

議長　畑　山　和　晴　殿

富谷市議会議員　　１３　　番　長谷川　る美

質 問 方 式　一括方式　・　一問一答方式

令和８年第４回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	長谷川　る美
質 問 方 式	一括　　一問一答

No.　１　　質問件名　市営墓地における合葬墓地の今後のあり方について

【質問要旨】－簡明に－

やすらぎパークとみやの合葬墓地は、現行制度上「身寄りのない方」や、個別埋蔵墓地の使用期間満了者・墓じまいをする方のためのもので、一般市民が最初から直接申し込める仕組みになっていません。

一方、高齢者のひとり暮らし世帯は、「富谷市高齢者保健福祉計画　第９期介護保険事業計画」によりますと、令和５年３月末で１，１０７世帯（令和２年比１８１世帯増、平成３０年比で約１．４倍）と増え、承継者を必要としない墓地への需要は今後さらに高まると見込まれます。

こうした状況の中、現行制度が市民のニーズに応えられているのかについて、以下お伺いします。

【質問項目】－列記－

１　市営墓地の利用状況についてですが、個別埋蔵墓地の申込・使用状況と合葬墓地への埋蔵件数とその内訳はどうなっていますか。(身寄りのない方、改葬など)

２　市民ニーズの把握についてですが、合葬墓地への直接申込に関する問い合わせの件数と内容、さらに継承者を必要としない墓地への需要を、市としてどう把握していますか。そして、合葬墓地に市民が直接申し込むことができない現行制度となっている理由についてお伺いします。

３　最後に今後のあり方についてですが、継承者を必要としない墓地への市民のニーズに応えるため、改葬や期間満了を経ずに、最初から合葬墓地を申し込めるよう、制度の見直しを検討する考えはないかお伺います。

答弁を求める者　　市長

議　　長	副 議 長	事務局長	書　　記

受付番号	１２
受付月日	１１月１８日（水）
受付時間	８：４５

一　般　質　問　通　告　書

令和８年１１月１８日

富谷市議会

議長　畑　山　和　晴　殿

富谷市議会議員　　４　番　　畠山　由美

質 問 方 式　一括方式　・　一問一答方式

令和　８年第　４回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	畠山　由美
質 問 方 式	一括　　一問一答

No. 1　　質問件名　学校給食の残食率削減に向けて

【質問要旨】－簡明に

学校給食は、児童生徒の健全な成長と健康を支えるだけでなく、食べ物への感謝と、自分に合った量を考える力を育てること、また食品ロスについて学ぶ重要な食育の機会です。本市では、学校給食センターにおいて、富谷市産の新鮮な食材やお米を使用し、材料についてもなるべく国産にこだわった給食を提供しています。また、調理員の方々は、「食べる喜び」を届けるために、一番おいしい状態で提供できるよう、分単位で段取りを組み調理をしています。

しかしながら、本市の学校給食における残食率は約２０％と高い状況にあり、食材や調理にかかる費用、食べ物を無駄にしないという観点からも、改善に向けた取り組みが必要であると考えます。近年の物価高騰による食材費の値上げも鑑み、一食当たりの予算の見直しについても検討が必要ではないでしょうか。

おいしい給食は、学校に行くのが楽しみになったり、モチベーションが上がったりするなど、子どもたちの笑顔につながる大切な取り組みです。栄養バランスの取れた食事をしっかり摂取できるよう、残食の原因分析と、改善に向けた取り組みを進めるべきと考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列記－

１　本市の学校給食における残食状況および原因をどのように分析していますか。

２　児童生徒や保護者へのアンケート調査を実施し、子どもたちの嗜好や意見を献立づくりに反映させる考えはありますか。

３　残食率の高い献立について、調理方法や味付け、食材の組み合わせなどを見直し、食べやすくする工夫を進める考えはありますか。

４　学校における食育の充実や給食時間の確保など、児童生徒が楽しく給食を食べられる環境づくりについて、どのように取り組んでいますか。

５　物価高騰による食材費の値上げの観点から、一食当たりの予算の見直しについての見解をお伺いします。

６　食品ロス削減の観点から、学校給食における具体的な取り組みと課題について、どのように検討していますか。

答弁を求める者　　教育長

議　員　名	畠山　由美
質 問 方 式	一括　一問一答

No. 2　　質問件名　元気な高齢者への支援と見守り体制の充実について

【質問要旨】－簡明に－

高齢化が進む中、介護が必要になってから支援するのではなく、健康で自立した生活を送る高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護予防と生活支援の充実が重要です。

特に、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない高齢者は、住宅内の手すり設置や、段差解消などの費用が原則として全額自己負担となるため、転倒予防の観点からも支援の充実が求められています。

要支援・要介護認定を受けてからではなく、元気なうちに転倒予防のための住宅改修を行うことが、将来的な介護予防や医療費・介護給付費の抑制にもつながると考えます。

また、元気な高齢者であっても、孤立や体調の変化を早期に発見できる仕組みが必要と考えます。今は、デジタル技術やアプリを活用することで、日常の困りごとや安否確認など、一人ひとりに寄り添った支援が可能な時代になりました。先進自治体の取り組みを積極的に学び、本市においても、元気な高齢者の方たちが、健康で生き生きと安心して暮らせるまちづくりをさらに進めるため、以下質問いたします。

【質問項目】－列　記－

1　元気な高齢者の住宅安全改修助成として、手すり設置、段差解消、浴室の安全対策などに対する補助制度について、市の考えをお伺いします。

2　一人暮らしや高齢者のみの世帯に対する定期的な声がけ、緊急通報装置などの支援について、取り組みの方針をお伺いします。

3　高齢者の閉じこもりや孤立を防ぐため、外出支援や地域活動への参加促進について、どのように取り組んでいくのかお伺いします。

4　介護認定を受ける前の高齢者が抱える日常生活の困りごとに対し、デジタル技術を活用した見守り支援について、見解をお伺いします。

答弁を求める者　　市長

議　　長	副 議 長	事務局長	書　　記

受付番号	１３
受付月日	１１月１８日（水）
受付時間	８：５５

一　般　質　問　通　告　書

令和　８年１１月１８日

富谷市議会

議長　畑山　和晴　殿

富谷市議会議員　６　番　　菊池　美穂

質 問 方 式　一括方式　・　一問一答方式

令和８年第４回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	菊池　美穂
質 問 方 式	一括　　一問一答

No.　１　　質問件名　　こどもたちを犯罪から守り抜くために

【質問要旨】－簡明に－

昨今、全国的にこどもが犯罪に巻き込まれる事案が発生しており、その被害リスクが多様化・深刻化しています。教育・保育施設や家庭、地域のほか、インターネット空間においても、さまざまな角度からの対策が重要です。

また、こども性暴力防止法が本年１２月に施行されることを踏まえ、市の準備状況と今後の取組について、以下質問します。

【質問項目】－列　記－

１　こども性暴力防止法の施行に向けた本市の体制整備状況について。

①　市立学校や市が所管する関係施設における、法令上の対象区分を踏まえた準備状況について。また、制度の内容をどのように関係部署や施設に周知していますか。

②　必要な規程の整備、研修、情報管理体制について。

③　施行に向けどのようなスケジュールで取り組んでいますか。

④　学校、教育委員会、保育・子育て支援部局などの関係部署の連携について。

⑤　学校やこどもに関わる施設において、こどもへの性暴力や不適切な行為を未然に防ぐための今後の対応は。

⑥　職員に対して、こどもの人権に関する研修をどのように実施していますか。

⑦　こどもが性暴力や不適切な行為について相談したいとき、学校や施設内外にどのような相談先がありますか。

⑧　こどもが違和感や被害を訴えやすい環境を整えるための取組について。こどもから相談や被害の申告があった場合、誰がどのような手順で対応しますか。

⑨　こどもや保護者が相談先や相談方法を把握できるよう、周知を強化する考えは。

２　こどもに対する防犯教育およびリテラシー教育の実施状況は。

３　国の登下校防犯プランに基づいた登下校時における防犯対策の強化について。

４　警察、学校、放課後児童クラブ、ＰＴＡ、地域のボランティアや自治会などの関係者の防犯対策に関する「地域の連携の場」について。

答弁を求める者　　教育長

議　　長	副 議 長	事務局長	書　　記

受付番号	１４
受付月日	１１月１８日（水）
受付時間	１１：２５

一　般　質　問　通　告　書

令和　８年１１月１８日

富谷市議会

議長　畑　山　和　晴　殿

富谷市議会議員　３　番　　伊藤　嘉樹

質 問 方 式　一括方式　・　一問一答方式

令和８年第４回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第６２条第２項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議　員　名	伊藤　嘉樹
質 問 方 式	一括　　一問一答

No.　１　　質問件名　　電子投票の早期導入を

【質問要旨】－簡明に－

日本における電子投票は、平成１４年の電磁記録投票法の施行から始まりました。平成３０年の総務省「投票環境の向上方策等に関する研究会」の報告を契機に、令和２年にはタブレット端末等の汎用機の活用を念頭に電子投票システムの技術的条件が改定され、全国の市町村で導入が始まっております。また、先の宮城県議会の一般質問においても導入に向けた提案がなされました。

現在は、地方自治体の選挙のみ電子投票が実施できる法体制となっており、国政選挙との投票方法の違いなどを懸念する意見も聞かれますが、地方から率先して取り組み、制度変更を促す必要があると考えます。また、デジタル技術への対応は現代社会にとって当然のことであり、電子投票のいち早い導入を求め、以下について質問します。

【質問項目】－列記－

１　電子投票の導入目的における優先課題は。

２　県選管が１０月に実施した実機体験研修は把握しているか。

３　動線や操作補助時の投票の秘密保持、停電・機器故障時における対応手順の検討について。

４　交付税措置等を踏まえた紙投票との費用及び職員作業時間の比較試算と、県との共同調達及び共同研修並びに県による補助の可否について。

答弁を求める者　　選挙管理委員会委員長